

サイエンスゼミ化学「水の化学」 ～水環境を考えよう～

2014年8月4日 発行

日程:平成26年7月31日(木)・8月1日(金) 9:30～17:00

場所:岡山大学環境理工学部環境管理工学科植生管理学的研究室(岡山市北区津島中3-1-1)

岡山大学でサイエンスゼミ化学「水の化学」～水環境を考えよう～の研修を受けました。この研修では、岡山大学の沖先生・中嶋先生・ゼミの方々から水環境の講義・実習と水質の測定法についてご指導いただきました。参加生徒13人と引率者2人全員が水環境に対する意識が深くなる研修でした。

7月31日(木)1日目



採水場所の岡山大学のビオトープにて

午前中は沖先生に水環境についての講義を受けた後、岡山大学ビオトープで採水と水質測定をしました。暑い中、長袖を着ての採水でしたが、楽しい時間が過ごせました。

午後は中嶋先生に児島湖の水質についての講義を受け、午前中に採水した試水の前処理を行いました。その後、TAの方に研究室の紹介をしていただきました。

8月1日(金)2日目



COD滴定

測定結果を書いた黒板の前で

2日目は1日目に採水し前処理した試水について、COD・リン・吸光度などの様々な項目を分析し、出た結果をパケットの結果と比較しました。

生徒の感想

- ・僕は今回の講義でコンクリートでできた用水路と素掘りの用水路で、水質やそこに住む生物たちも違っており、コンクリートの用水路でも形を工夫すれば、より魚たちがぐらしやすい環境づくりができることがわかりました。
- ・自分たちの使用していたパケットの結果が本当のCODの測定法とどの程度が違うのかについてもわかりました。今回の研修で学んだことをこれからの水質の測定に生かしていきたいと思います。
- ・難しい内容をていねいに解かり易く説明していただき、とてもよくわかりました。自分が賢くなったような気がしました。